

平成30年10月2日

伊万里市長
深 浦 弘 信 様

ふるさと自然の会
会長 川内野善治

伊万里市再生可能エネルギービジョンに記載された 大型風力発電プロジェクトについてのお願い

9月27日の面談に際して企画政策課 行財政改革推進室 室長松尾貞裕様にはお忙しい中私どもの話を傾聴して頂き有り難うございました。

その際にお話をしましたが、配慮書には第一種事業の目的及び内容の中に「伊万里市は本ビジョンにおける重点プロジェクトのひとつとして、国見山付近における大型風力発電プロジェクトを挙げており、この地域における風力発電事業を推進している。」また、「風力発電施設の設置予定範囲については、計画段階において、すでに伊万里市の関係部署と連携を取りつつ事業化を検討しており、地元自治体とのコミュニケーションを図りつつ進めている。」と書かれています。

伊万里市ではこのような事実はないと言われましたが、配慮書には「伊万里市の関係部署と連携を取りつつ事業化を検討しており」と明確に文章化されています。立地自治体が推進するということは極めて重く、風力発電事業が問題なく進められることを意味します。貴市におかれましては、(株)エコ・パワーによる風力発電事業推進の事実が本当でないのであれば、明確に「推進をしていない」との回答をお願いします。

また、貴市の環境基本計画を着実に実践されることを強く要望します。

記

(I) 大型風力発電プロジェクトについて

以下に、本プロジェクトの問題点を①②③④として抽出し、お尋ねやお願いをします。

1) 概要

①本プロジェクトは、市内で比較的風量が見込める国見山付近に大型風力発電設備等の設置を想定して検討を進めます。

②基本的に、大型風力発電設備の推進においては、騒音・超低周波音、動植物及び生態系、景観等の環境への影響がないことを前提に事業を進めていくことを認めるものとします。

③環境アセスメント（環境影響評価）制度に基づいて、民間事業者が調査・予測・評価を行い、その結果を公表して市民、事業者、県などから意見を聞く場を設け、それらを踏まえて環境の保全の観点から、よりよい事業計画を提出していただくことを前提に事業を推進します。

2) 実施形態

本プロジェクトでは、民間事業者は固定価格買取制度（FIT）に基づいた売電を行うことを前提に推進します。ただし、後述する「【関連】地域新電力によるエネルギー資金の地域循環プロジェクト」を立ち上げる際には、この大型風力発電プロジェクト推進事業者が地域新電力（地域PPS）へ電力を卸すことも視野に入れ、優先的に事業を支援していきます。

④事業実施主体としては、基本、民間事業者ですが、環境アセスメント（環境影響評価）については、公共（市）も関与しながら進めていきます。

①について

大型風力発電プロジェクトにおいて、「市内で比較的風量が見込める国見山付近に大型風力発電設備等の設置を想定して検討を進めます。」とあります。国見山付近に於ける風力発電の想定をする場合は、伊万里市が自ら風力発電事業を行うか、民間事業を推進するしかないはずで

す。自然が豊かな地域への風力発電建設は環境に対し非常に大きな負荷を掛けることとなります。後世に引き継ぐべき貴重な財産である環境に負荷を掛けないために『伊万里市環境基本計画』が策定されており、基本理念として「自然と共生する都市の実現」を目指し、生態系及び市域の自然的条件に配慮し、自然と共生する都市の実現を目的としていることが書かれています。

そして、自然環境の保全には「在来自然生物に対する関心と正しい知識のもと、今ある自然を後世に残していく行動が必要です。開発行為をはじめ人間の活動が貴重な自然を破壊していることを認識し、動植物自体の保護はもとよりその生息・生育区域の保護を行っていく必要があります。」と明記されています。

国見山付近への風力発電建設が現実のものとなり、動植物及び生態系、景観等の環境への大きな影響が出るようになってきました。環境基本計画との整合を図るには、自然度の高い「国見山付近に大型風力発電の建設を想定する」ことをやめるべきではありませんか。そうしないと、例え（株）エコ・パワーが撤退しても次の事業者が直ぐに現れます。市としてはどのようにお考えでしょうか。

②について

「基本的に、大型風力発電設備の推進においては、騒音・超低周波音、動植物及び生態系、景観等の環境への影響がないことを前提に事業を進めていくことを認めるものとします。」とあることから、先般の要望書では景観・動植物及び生態系について詳しくお知らせしお願いをしましたが、理解を得られずに大変残念に思っています。

・動植物及び生態系

国見山の山頂北西部には、北松浦半島では唯一のアカガシの原生林（図2参照）があり、一部は伊万里市で長崎県側は鳥獣保護区にもなっています。

図1は事業者が示した風車の配置図です。赤で囲んだ部分がアカガシの原生林です。これを見ると、風車①は隣接地で風車②は原生林内です。

風車の建設に際しては、図2のように建設場所を広く（0.3ha）更地にし風車間に道路を造ります。これによってアカガシ原生林内には直接風が吹き込むようになり、原生林内が乾燥し、林内に生息する生物に大きな影響を与えます。

アカガシ原生林に生息する佐賀県の希少種の一部を紹介すると、ヤイロチョウ・アカショウビン・サンショウクイ・ミソゴイ・フクロウ・ハイタカ・ヤマドリなどで、カスミサンショウウオ・ブチサンショウウオ・タゴガエルの産卵地もあります。

このように、この事業は明らかに環境に与える影響が大きいのです。（株）エコ・パワーに限らず国見山付近での風力発電の計画は推進しないよう強くお願いします。

なお、『伊万里市環境基本計画』では、自然環境の保全として「自然が残っている、将来に向けて保全すべき地域については、野生動植物の重要な生息・生育環境となることが多いことから、人為的な改変を極力避け、保全に努めます」「重要な野生鳥獣の生息地や渡り鳥の飛来地などは、鳥獣保護区として生育の保全に努めます」とされており、自然環境の現況と課題としては、「伊万里湾には『塩生植物』などの希少な植物なども自生しています。これらの生息・成育条件は長い時間をかけて育まれた生態系のバランスの上に成り立っており、一度壊してしまうと元の状態に戻すのは非常に困難です。希少種をはじめとする多様な動植物と将来にわたって共生できるよう、生物環境の保全が課題となります。」とあります。塩性湿地の生態系も森林生態系も環境が異なるだけで同じです。

また、生物多様性の確保として、「希少野生動植物の生息・生育環境が影響を受けることを回避するため、法律や条例、制度などを用いて、生物多様性の保全の推進に努めます。」とあります。

風車の資材運搬のための道路拡幅が伊万里市側から行われた場合やアカガシ原生林内とその側に風車が建設されることになれば、伊万里市の環境基本計画は瓦解してしまうこととなりますがどのようにお考えでしょうか。

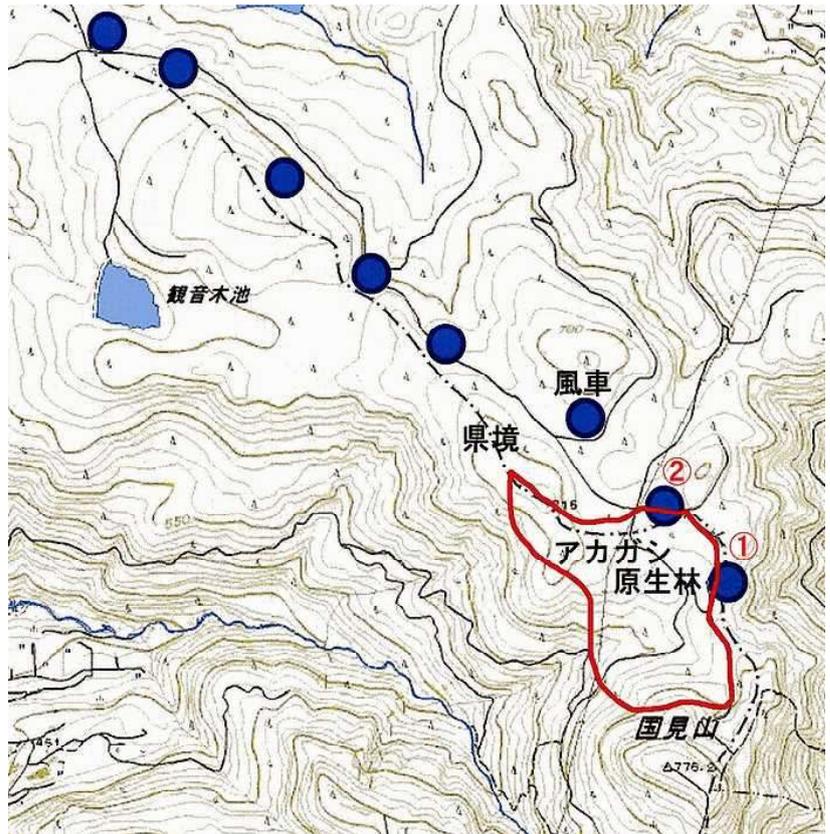


図1 事業者が示した風車配置図に原生林の範囲を追加

・ 景観

景観への影響は調査をするまでもなく、現地へ行き自ら確認すれば、景観に与える影響が極めて大きいことが理解できるはずです。

図2は国見山付近に建設される風力発電と良く似た環境に建設されたものです。このように、風車は林の中に建つのではなく建設場所を更地にして建て風車間に作業道が造られます。



図2 エコ・パワー建設の度合ウインドファーム

是非国見山展望台へ出向かれ風車が建った様子を想像してみてください。

なお、図2を見ると景観だけでなく、山の斜面に発生する上昇気流を利用しながら長距離の渡りをする鳥類にとってバードストライクや迂回を強いられるなど、大きな障害となることは一目瞭然です。

③について

民間事業者が調査・予測・評価を行います。その公表（縦覧）は配慮書と同様に行われます。これは、市民に周知するのが主目的ではなく、単なる制度上の通過点です。また、事業者が新聞等で説明会のお知らせをしますが、これも環境アセスの一環として行われるものに過ぎません。

ビジョンでは「結果を公表して市民、事業者、県などから意見を聞く場を設け」とあります。事業者が一方的に決めた関係住民に対してのみ実施する事業説明会とは別に、ビジョンの趣旨に沿えば市が主体となって全市民に風力発電建設について説明をし意見を聞くべきだと思います。

先の配慮書においては市民にどのような説明がなされたのでしょうか。また、今後方法書・準備書と進みますがその場合についてもお聞かせ下さい。

④について

「環境アセスメント（環境影響評価）については、公共（市）も関与しながら進めていきます」とあります。今回の配慮書において、市としてはどのように関与されたのでしょうか。これも、方法書・準備書と進みますがその場合についても関与のあり方をお聞かせ下さい。

（Ⅱ）温泉施設山暖簾から見る風車群について

図3は、そちらにお伺いした際にも話をしました世知原町「山暖簾」から見える風車群の予測図です。

正確を期すために、作図は「山暖簾」から見える風況ポールの高さ（60m）に合

わせて描いています。

配慮書には、眺望点として宿泊温泉施設「山暖簾」・国見の郷・交流広場が挙げられていません。これは大きな問題です。

なかでも、山暖簾は多くの宿泊客や入浴客が各地から訪れており、本地域では人気の高い温泉施設です。

現在、展望テラス・レストラン・露天風呂から風況ポールが良く見えます。風車が建設されると当然見えることとなります。利用者



図3 山暖簾から見た風車群の予測図

が求める美しい緑の稜線上の異質な風車の存在は景観を著しく阻害します。なお、この辺りは民家及び街灯が少なく夜は真っ暗となります。露天風呂から星空や満月を愛でることが出来ると宿泊客に評判が良いのです。風車が建つと夜間にフラッシュ光が放たれ夜の景観も悪くなってしまいます。これらは、地域振興の観点からも大きな問題です。

このように、風車の建設は伊万里市から離れた地域の振興にも大きな影響を与えることを十分に考慮して頂くようお願いいたします。

最後に

提案です。拡幅される林道・アカガシの原生林・国見山山頂からの展望を一緒に見に行きませんか。机上では全く見えないものが沢山見えてきます。是非、前向きにご検討下さい。

貴市のご回答を10月25日までに文書でお願いします。

なお、本要望は当会のホームページやブログにて公開することをご承知下さい。

ふるさと自然の会

事務局 川内野善治

〒859-6405 佐世保市世知原町開作427-5

TEL/FAX 0956-78-2865

<http://www5d.biglobe.ne.jp/~furusato/>